

## 別紙3 FAQ

### Q1：アップデート後にサーバの再起動が必要か？

A1：

有効期限前にアップデート適用する場合

- ・Linuxでは、再起動不要です。
- ・Windows系OSでも、基本的に再起動は不要です。

Windows系OSでは、サービスの稼動状況などにより、稀にアップデート中にエラー「Create Service failed」が発生する場合がありますが、サーバ再起動後に再度アップデートを実施願います。

詳細は、アップデート手順書(readme.txt)を参照願います。再アップデート後のサーバ再起動は不要です。

有効期限後にアップデートを適用する場合

- ・Linuxでは、再起動不要です。
- ・Windows系OSでは、アップデート適用時に、サーバの再起動が必要です。

OS種別により手順が異なりますので、アップデート手順書(readme.txt)を参照願います。

### Q2：サーバとエージェントは、どちらからアップデートを適用するのか？

A2：順序は、問いませんが、まとめて同時期に適用をお願いします。

### Q3：期限切れ以降の問題発生は、何らかの条件が影響するのか？

A3：有効期限を過ぎると必ず発生します。

システムに投入されたJavaのバージョンにも影響されず発生します。

### Q4：有効期限後にサービスが起動されなかった場合、停電はどう処理されるか？

A4：短時間の停電であれば、UPS内のバッテリーでサーバの継続運転が可能です。

しかし、UPS内部のバッテリーを全放電する長い停電が発生した場合は、サーバの自動シャットダウンは実施されない状態で、サーバの電源断となります。

### Q5：アップデートにあたって注意する事項はありますか？

A5：アップデート媒体解凍後のアップデート手順書(readme.txt)に従って適用をお願いします。

アップデート媒体解凍後の「手順書」ディレクトリ配下のUPDATEの適用手順書(UPADTE適用手順.TXT)も参照願います。

### Q6：アップデート後、スケジュール設定などの情報は引き継がれますか？

A6：有効期限前のアップデート適用では、引き継がれます。

有効期限後のアップデート適用では、再設定が必要になる場合もありますので添付のアップデート手順書に、従って適用をお願いします。